

からの手紙

小林鷹之



復興予算の流用問題

財源は復興増税

役所の縦割り構造に問題

国家財政に携わった経験を活かして

糸を力に。2012年 Vol.11 [討議資料]

自民党

千葉県第二選挙区支部 小林鷹之事務所発行
(八千代市・習志野市・花見川区)

編集後記

中山伸弥京都大学教授によるノーベル医学生理学賞受賞。挫折を繰り返しながら辿り着いた偉業は日本中を勇気づけてくれましたね。「日本、日の丸の支援がなければ、このように素晴らしい賞を受賞できなかったことを心の底から思いました」との中山教授のコメント。日本に植えられている、教授のような「可能性の種」がこれからも次々と芽生えていくように官民一体となった支援体制を整えていく必要があります。可能性に挑戦する社会にしたいですね。(スタッフ)



2012.10.13 小林鷹之後援会 習志野支部 発足会にて

鷹之ブログ

ameblo.jp/kobahawk

日々のニュースを、わかりやすく解説しながら自身の意見を述べているブログです。ぜひお読み下さい。

twitter

twitter.com/kobahawk

愛娘のことから天気のこと食べ物のこと、気になったことをほぼ毎日つぶやいています。

ホームページ

www.kobayashi-takayuki.jp

小林鷹之についてもっと知りたい、ボランティアをお願いできる方、献金案内はこちらから。



小林鷹之プロフィール

東京大学法学部卒業。ハーバード大学行政大学院修了。平成11年大蔵省(現財務省)入省後、財政運営から国際金融に至るまで幅広い分野の政策立案を担当。在米日本大使館に出向した際、急速に変化していく国際社会の中で、日本が為す術もなく取り残されていく姿に危機感を抱き、一昨年春財務省を退職。公募を経て自民党千葉二区支部長就任。現在37歳。一女の父。

活動報告

▲10月13日土曜日に「小林鷹之後援会習志野支部」が発足会いたしました。発足会にご参加下さった多くの皆様、ありがとうございました。引き続き皆様のお力添えを賜りながら邁進してまいりますので、更なるご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



▲習志野市、花見川区にてミニ集会・座談会を開催いたしました。活発な意見交換をさせて頂きありがとうございました。



▶「未来を拓く」その一心で訴え続けています。立ち止まって聞いて下さった皆様ありがとうございました。

小林鷹之 本人がお伺いします!

小林鷹之事務所では、小林本人の意見を一人でも多くの方に伝えさせて頂くために、5名様~10名様であっても小林鷹之本人が伺わせて頂きます。お気軽にお電話、FAX、メールにて是非事務所まで御連絡ください。

TEL: 043-239-5192 FAX: 043-239-5193

Email: info@kobayashi-takayuki.jp

小林鷹之 千葉・習志野事務所

〒262-0045

千葉県千葉市花見川区作新台 4-6-26

小林鷹之 八千代事務所

〒276-0042

千葉県八千代市ゆりのき台 3-3-5 アットホームセンター第2ビル 202号室

復興予算の流用問題

【復興とは無関係の事業】

NHKスペシャルをきっかけに浮上した復興予算の流用問題。5年間で約19兆円の予算は、被災地のがれき処理や原発事故に伴う除染費用等、まさに復興を支援する目的で組まれました。しかし、その中には青少年の国際交流事業費、被災地外の刑務所における職業訓練費、反捕鯨団体（シーサーパード）対策費、国立競技場補修費等が含まれていること、特に昨年度3次補正予算には488事業うち205事業が被災地に特化していることが判明しました。

【財源は復興増税】

今回の復興予算の財源の半分以上は、いわゆる「復興増税」によって賄われます（所得税7.5兆円+法人税2.4兆円+住民税0.6兆円=10.5兆円）。より分かり易く消費税に単純換算すると、消費税率を1年間だけ約4%上げる計算になります。景気が低迷する中で、負担を分かち合うこととしたのは、仲間を支えなければならぬ、そんな私たち日本人の思いが込められた「絆」の予算・増税であると考えたからです。

【役所の縦割り構造に問題】

一日も早い復旧・復興を目指し、時間的制約がある

中で、予算査定が多少緩くなることはあり得るし、復

興基本方針にある「日本経済の再生なくして被災地の復興はない」との文言に上

記事業を読み込めなくもない。しかし、今回の「拡大解釈」はあまりにもひどい。査定が最も厳しいとされる一般会計予算に盛り込めなかつた事業の「便乗要求」に他なりません。主な原因は、いわゆる役所の縦割り構造にあります。どさくさに紛れて予算の分捕り合戦が行われ、省益が国益に優先する「省あつて国なし」と称される典型的な事例です。

【政治家のチェック能力】

政治家には、こうした役所の動きを見抜く知見が求められます。が、残念ながら国会によるチェックが十分に機能していないことが露呈されました。

政権交代後に脚光を浴びた「事業仕分け」。自民党時代に決められた事業をバサバサと切る姿は勇ましかつたですが、民主党政権が組んだ予算については全く切れていません。鳴り物入りの行政刷新会議も今のところ存在感はありません。名ばかりの公務員改革を口先で唱えるだけでは意味がないのです。

いのです。まずは、国會議員自らが必要なチェックを行えるだけの能力を備えることが必要です。

【国家財政に携わった経験を活かして】

本来、政府予算をチェックする一丁目一番地の予算委員会は、いまや政治家のスキヤンダルを追及する場はあります。自民党も大いに反省すべき点があると思います。また、予算の執行状況をチェックする決算関連の委員会はステータスが低く、注目されません。シャンシャンで終わることもあります。

立法府が予算を事前と事後に厳格にチェックする姿勢を毅然と示すことを通じ、各省庁が無駄な事業について予算要求する姿勢を牽制する必要があります。

そのためにも、政治家には、役所の論理を見破る眼力と、既得権益の確保に走るいわゆる族議員の圧力に負けず正論を吐く気概が求められています。私自身も、財務省にて国家財政の企画立案に携わってきた経験と知識をフルに活用して、国益に適う予算づくりに尽力するよう精進してまいります。

平成二十四年十月吉日
自民党千葉県第二選挙区支部長
小林鷹之